

日本物理教育学会ニューズレター 2012年6月号

●2012年度日本物理教育学会定時総会が開催されました

2012年度の日本物理教育学会定時総会は6月16日(土)15時より筑波大学・東京キャンパス文京校舎で開催されました。議案I～IVの全てが可決されました。

引き続き開催された2012年度第1回理事会で、理事の互選により、2012年度の会長に高橋憲明(中之島科学研究所(大阪市立科学館)),副会長に覧具博義(元・東京農工大学)および廣井禎(元・筑波大学附属高等学校)の各氏が選任されました。

●2012年度日本物理教育学会会長より

「日本物理教育学会の新しい息吹」

去る6月16日土曜日に日本物理教育学会総会を執り行い、学会の事業と会計につき承認を戴き、また、新しい理事・監事が選出の運びとなりました。その後、引き続き開催の理事会で、新しい役員が決定いたしました。凶らずも引き続き会長に選ばれ、副会長の覧具博義先生、廣井禎先生とともに会の運営に当たらせていただくこととなりました。

本年、日本物理教育学会は創立60年を迎え、新しい時代の雰囲気を取り入れる必要に迫られています。学会誌の充実はじめ、行動決定の迅速化、透明化です。庶務、会計、編集、ホームページ、ニューズレターを担当される理事にはベテランの理事と、学会の次世代を担われる若手の理事の組み合わせが可能になりました。新しい時代に向けた息吹を感じます。言うまでもなく、日本物理教育学会の理事は無給で、本来、お忙しい仕事の合間に時間を見つけて学会の仕事をこなして頂いています。役員は従来ベテランの方々にお願いすることが多かったのですが、最近余りにも多くのお仕事をお持ちになる方が多く、相当無理をして頂いておりました。

今回新しく若手の理事にもお仕事をお願いでき、活力を大いに発揮して頂き、迅速化、透明化を押し進めたく存じます。会員の皆様におかれましても、ご協力のほどよろしく御願い申し上げます。本年、8月には札幌で物理教育研究大会が開催されます。是非ともご参加の上、学会活動の活性化に向けて、ご協力、ご意見の御表明などを御願い致します。簡単ではありますが、挨拶に替えさせていただきます。

日本物理教育学会会長
高橋 憲明

●学会監訳書「科学をどう教えるか」ついに発売

かねてお伝えしていた、E.F.Redish 著“Teaching Physics with the Physics Suite”の翻訳書『科学をどう教えるか—アメリカにおける新しい物理教育の実践』が日本物理教育学会監訳のもと丸善出版より発売されました。

(A5判 344ページ ISBN978-4-621-08550-9 定価 3,990円(税込))

詳細については下記をご覧ください。

http://pesj.jp/2012doc/maruzen_perbook.pdf



●2012 年度日本物理教育学会 第 29 回物理教育研究大会について

本年度の研究大会は 8 月 11-12 日に北海道大学理学部で開催されます。発表申し込みの期限は 7 月 2 日 (月)、予稿提出期限は 7 月 9 日 (月) です。また、参加申し込み期限は 7 月 17 日 (火) です。参加は当日も受け付けますが、大会期日がお盆前で観光シーズンでもあるため、札幌行きの飛行機が大変混んでいます。できるだけ事前にお申し込み頂き、早めに航空機の便を予約することをお勧めします。

大会テーマ「めざせ、物理教育のフロントランナー」と全体討論 (2 日目午後 (8 月 12 日 (日) 予定)) について簡単に説明いたします。

若者の理科離れが続き、産業構造にも大きな変革が押し寄せている日本社会にあつて、現在、物理を中心とした基礎科学教育の一層の充実が求められています。そこで物理教育の改善や物理の普及に向けた「新たな取り組み」や「十分な実績や成果を挙げている取り組み」等を鼓舞し、物理教育の一層の活性化につなげることを意図して、今回の大会テーマ「めざせ、物理教育のフロントランナー」を設定しました。また、本大会のテーマの下で行う全体討論は“還暦を迎えた物理教育学会の今後の活動を考える契機になり得る”もので、大会準備委員会としては 60 周年記念の一部と位置づけています。今回は討論の端緒となるように、個人として、あるいは学会支部としての「新たな取り組み」や「十分な実績・成果を挙げている取り組み」の中から 4 件の話題を提供する予定です。

大会ウェブサイトは、<http://b.high.hokudai.ac.jp/pesj2012/> です。

連絡用メールアドレスは、pesj2012@edu.hokudai.ac.jp (@は@に直してください) です。

●日本物理学会秋季大会参加申し込みのお知らせ

日本物理学会 2012 年秋季大会 (横浜国立大学) 参加申し込みは、日本物理学会のウェブ上からできます。日本物理教育学会会員は、日本物理学会正会員と同じ条件で領域 13 (物理教育、物理学史) に参加できます。なお、参加費や講演概要集の割引措置を受けることができるウェブでの事前加申込の期限は 7 月 20 日です。

日本物理学会 HP : <http://www.jps.or.jp/activities/meetings/index.html>

●第 5 回 高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 (共催) 開催のお知らせ

7 月 15 日 (日) 16 日 (月祝) に、東京の麻布高校にて、「第 5 回 高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 (主催: 物理教育研究会 (APEJ), (社) 日本物理学会), 共催: 日本物理教育学会, (公社) 応用物理学会 (申請中)」を開催いたします。

高校の物理教育において、様々な実験を効果的に授業に導入することは、生徒の理解を助ける上で大きな役割を果たします。本実験講習会では、実験に消極的な教員の方々にも自信と意欲を持ってもらうこと、また将来教員を目指す学生には、実験の基本的な考え方を学んでもらうことを重点的に考えています。そのため、インストラクターとして現場の教員を多数配置しています。そして参加者を少人数のグループに分割し、実験の操作の講習だけでなく、授業の中での実験の位置づけや、準備のこつ、生徒の反応への対応など、気軽に意見交換ができるように配慮しています。この方法は、ほとんどすべての受講者から好評を得ています。

定員は 50 名 (申し込み先着順) で、参加費は一般 3,000 円、学生 1,000 円です。他にテキスト代は実費 (2000 円) かかります。

実験項目(10 テーマ)

- | | |
|---|-------------------------|
| ○台車にはたらく力と運動 | ○力学的エネルギーの保存 |
| ○気柱共鳴と縦波の定常波 | ○コンピュータ計測(力と運動および作用反作用) |
| ○ウェーブマシンを使った実験 | ○電磁誘導 |
| ○箔検電器と静電誘導の電荷移動 | ○ナトリウム光の吸収 |
| ○霧箱 | |
| ○基礎技術講習 (箔検電器の箔の貼り替え, オシロスコープの使い方, はんだ付け) | |

申し込みは、次のアドレス (kita@hs.keio.ac.jp, ただし@は@にしてください) に、「実験講習会申し込み」と銘記して、氏名、勤務先、連絡先を記入してお送りください。

●教育シンポジウム「科学をどう教えるか」(後援) 開催のお知らせ

7月15日(日)に、東海大学代々木校舎にて、NPO 法人理科カリキュラムを考える会、「科学をどう教えるか」翻訳グループ主催の教育シンポジウム「科学をどう教えるか—米国物理学会・物理教育学会の推進する新しい教育方法と日本」を開催(本学会後援)します。

1970年代から、米国では教育を認知科学に基づいて科学的に追及しようとする物理教育研究(Physics Education Research; PER)が育ってきて、それに基づく教育改善が大学、高校、中小学校の現場で成果を上げつつあります。このシンポジウムでは、米国で PER に基づく教育改善を実践している土佐幸子氏(ライト州立大学, オハイオ)の来日と E. F. Redish 氏による入門書(Teaching Physics with the Physics Suite; TPPS)の和訳書(日本物理教育学会監訳「科学をどう教えるか—アメリカにおける新しい物理教育の実践」)がこの6月に出版されたことを機に、国際的な交流を通して日本の教育の在り方を考えます。

詳しいプログラムなどは、NPO 法人理科カリキュラムを考える会 HP (<http://www.rikakari.jp/>) 及び本学会 HP (<http://www.pesj.jp/>) をご覧ください。

●日本物理学会 科学セミナー「元素誕生と周期表—私たちを取り巻く原子核」のお知らせ

日本物理学会主催の科学セミナー「元素誕生と周期表—私たちを取り巻く原子核」(協賛: 日本物理教育学会)が来る8月9日(木)、10日(金)東京大学小柴ホールで開催されます。

物質は電子と原子核とから構成され、原子核は陽子と中性子で構成される。原子核は陽子の数に応じて原子番号が決まり、同じ原子番号を持つ原子は同じ元素名で呼ばれる。すなわち元素には中性子数が異なる同位体が存在する。自然界にはほぼ一定の割合の原子核が存在し、また人工的に作られもしており、さらには自然に崩壊しているものもある。私たちの生活に必要な元素、有用な物質を構成するのに必要な元素、その代用にかかわるものなど、生活を取り巻く元素と原子核に焦点をあてて、様々な分野の第一線の研究者に講演をしていただき、元素と原子核に関わる科学を学ぼうと思います。

詳しくは、日本物理学会 HP (<http://www.jps.or.jp/public/seminar/scisemi2012.html>) をご覧ください。

●会費納入のお願い

本学会の収入の大部分は会員からの会費です。毎年3月末までに納入していただくことになっています。2012年度の会費が未納の方、会費納入をよろしくお願いいたします。なお、振込用紙は会誌1号と2号に添付されています。

*次号は7月末日に発行予定です。ニューズレターで、広報したい本部・支部行事、共催行事などありましたら、7月15日までにメール (news@pesj.jp, @は@に直してください) にてご連絡ください。ただし、ニューズレター編集委員会で掲載の適否を審議し、また記述を編集させていただきます。

発行: 日本物理教育学会会長 高橋 憲明
編集: 日本物理教育学会ニューズレター編集委員会
発行日: 2012年6月30日